

講演要旨 北海道薬薬連携シンポジウム 2023

1. 話題提供 13:05 ~ 13:20

CKD に関する話題 ~その概念の誕生から今日まで~

療法人溪和会 江別病院薬局 薬局長 高山 慎太郎 先生

【要旨】

2023年10月、慢性腎臓病啓発活動の一環として TVCM の放送が開始されました。これにより医療従事者以外の方が“GFR”という3文字を知ることとなりました。一方で時を遡ること約20年、2002年に誕生したCKDという概念は偉大な先人たちの努力によって広く医療従事者の間に普及していきました。そして、すべての国民が腎臓病を知ることとなった2024年…、CKD患者への最適な薬物療法を実践するための“細やか”話題を提供させていただきたいと思います。

2. 発表 13:20 ~ 14:35

病院薬剤師によるCKD地域連携・多職種連携に向けた取り組み

医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院薬剤部 統括主任 小島 雅和 先生

【要旨】

病院薬剤師としてCKDへの関わりとして

- ・「検査値付き院外処方箋」導入に伴い「検査値を発端とした疑義照会」を集計。「腎機能低下」が多数であり、その事例を薬局薬剤師と共有
- ・「腎代替療法選択外来」における看護師・管理栄養士と協働した生活指導、服薬支援
- ・病院、薬局対象の「多職種症例検討会」、薬局薬剤師対象の「CKDに関する定期的な勉強会」を様子などを紹介し、CKDに関する薬学的介入のボトムアップ、連携強化に向けた取り組みを紹介し、課題を共有します

調剤薬局の研究発表から始まる薬薬連携~CKD関連項目の意識に関する実態調査より~

株式会社なの花北海道 なの花薬局美しが丘店 薬局長 桜田 尚季 先生

【要旨】

弊社では、2018年から社内での領域別チーム（腎チーム）を立ち上げ、現在まで社内での教育活動やマニュアル整備を実施している。その中で、専門学会での研究発表を通じて、病院薬剤師との連携も進めてきた。アンケート調査においては、アンケート結果を病院薬剤師と共にまとめ、その結果を踏まえて社内での薬剤適正使用ガイドの作成に取り組んできた。適正使用ガイドを社内で開催したことで、疑義照会や病院薬剤師など医療機関への情報提供につながった。

お薬手帳に貼付する「はこだて CKD シール」を活用した地域連携

－薬剤適正使用するための CKD シール運用のはじめ方－

株式会社函館調剤薬局 はこだて調剤薬局中道店 管理薬剤師 矢羽羽 雅行 先生

【要旨】

2023 年 11 月、函館及び近郊地域で、CKD 地域連携のツールとしてお薬手帳に貼付する「はこだて CKD シール」の運用が開始された。函館腎臓懇談会 CKD サポートドクターズが CKD 患者のお薬手帳にシールを貼付する。運用準備段階では、医師対象説明会で CKD シールの運用方法を説明・提案し、また薬剤師対象に周知や CKD シール活用方法の提案、勉強会の企画・開催を行い、薬剤適正使用の標準化に向けて取り組んだ。薬剤適正使用するための CKD シール運用のはじめ方について講演する。

3. 特別講演 14:45 ～ 15:45

慢性腎臓病の治療法について

独立行政法人国立病院機構 北海道医療センター 腎臓内科 医長 柴崎 跡也 先生

【要旨】

慢性腎臓病(CKD)は緩徐に進行する不可逆性の慢性疾患であり、自覚症状が乏しいため、患者さんの病識は乏しい。生活習慣病であるため、生活習慣を改善することが治療法としては、重要な位置を占める。しかし病識に乏しいため、改善困難なケースが多く散見される。薬物療法は、新規薬剤の登場もあり、今後の重症化予防が期待できる。今回薬物療法を中心に生活習慣の改善、更に腎代替療法についても概説する。